

国立大学入学者選抜研究 連絡協議会の活動

国立大学における入学者選抜に関する研究の交流と協力を推進し、入学者選抜方法の改善に寄与することを目的に、昭和55年6月、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会と大学入試センターで組織された国立大学入学者選抜研究連絡協議会（略称：入研協）の第13回大会が、平成4年6月1日(月)・2日(火)の2日間神戸市の神戸国際会議場で開催された。

総会及び研究会には、公・私立大学45大学85名の関係者を含む381名が出席した。公開講演会には、高等学校等からの30名を含む411名の参加者があった。

また、新しい企画としてテーマを指定した研究会（今回は“特別選抜”に絞った研究発表と討論）及び自由討論会を並行して開催した。

○第13回総会

「国立大学入学者選抜研究連絡協議会会則の改正について」が承認され、副会長が1名から2名となり、1名は大学入試センター副所長（教授）をもって充てることとなった。

会長及び副会長の選出が行われ、会長に熊本芳朗（電気通信大学教授）を再選、副会長に市川定夫（埼玉大学）が選出された。また、会則の改正により坂元昂（大学入試センター副所長）も副会長となった。

その他平成3年度会務報告、平成4年度事業計画等が例年どおり承認された。

○公開講演会

テーマ：企業変革期に求められる人材とその確保・育成について—企業視点での大学入試・教育への期待—

講演者：豊田 浩（株式会社クボタ 人事部長兼人権啓発室長）

○研究会等

【研究会Ⅰ】

①松永 隆信（岐阜大学）

入試成績と在学成績並びに医師国家試験合格に関する調査

②小尾 欣一（東京工業大学）

成績追跡による前期入学者と後期入学者の比較

③竹内 康滋（神戸大学）

前後期日程別入学者に関する大学学業成績の比較

④市川 定夫（埼玉大学）

学内成績と入試成績と相関(2)

—単位数も考慮した解析—

⑤高崎 禎夫（広島大学）

学内成績の評価の点数換算

—最適算式はどれか—

【研究会Ⅱ】

⑥平野 光昭（山梨医科大学）

入学時の競争率及び平均的学力と医師国家試験の合格率の関連について

⑦中村 紘司（北海道教育大学）

本学受験生のタイプと学内成績

⑧美原 恒（宮崎医科大学）

多面的選抜方法によって入学した学生の追跡調査

⑨石塚 智一，山田 文康，清水留三郎（大学入試センター）

多肢選択と自由解答の効果の比較

—社会・理科—

【テーマ指定研究会】

⑩澤田 和明（滋賀大学）

推薦入学制度のあり方に関する基礎的研究

⑪逆瀬川浩孝（筑波大学）

大学の学内成績からみた入学試験方の量的評価

⑫鈴木 眞雄（愛知教育大学）

教員養成系の推薦入学者の追跡調査問題提起

①推薦入試

（北海道教育大学・横浜国立大学）

②帰国子女特別選抜

（山梨医科大学・広島大学）

【自由討論会】

入学者選抜方法の今後のあり方、現在の国立大学の入学者選抜方法、などについて自由な討論を行った。

○地区協議会

北海道地区、東北地区、中部地区、中国・四国地区、九州地区の5地区協議会が大会時に開催された。

関東・甲信越地区、近畿地区の2地区の地区協議会は、別の日程で開催され、それぞれ情報交換等を行った。

○共同研究プロジェクト

高野文彦（大学入試センター・名誉教授）を研究代表者とする共同研究プロジェクト「大学入学者の特性と選抜方法との追跡調査研究」は、平成3年度より科学研究費補助金(総合研究A)の交付を受け、26の国公立大学で追跡調査研究が進められている。

平成4年9月24日(木)・25日(金)に平成4年度第1回研究会を、平成5年2月9日(火)・10日(水)に第2回研究会を開催し、各大学の研究成果の発表が行われた。

研究成果は3月に報告書として公表される。